

第 2 章

気 象

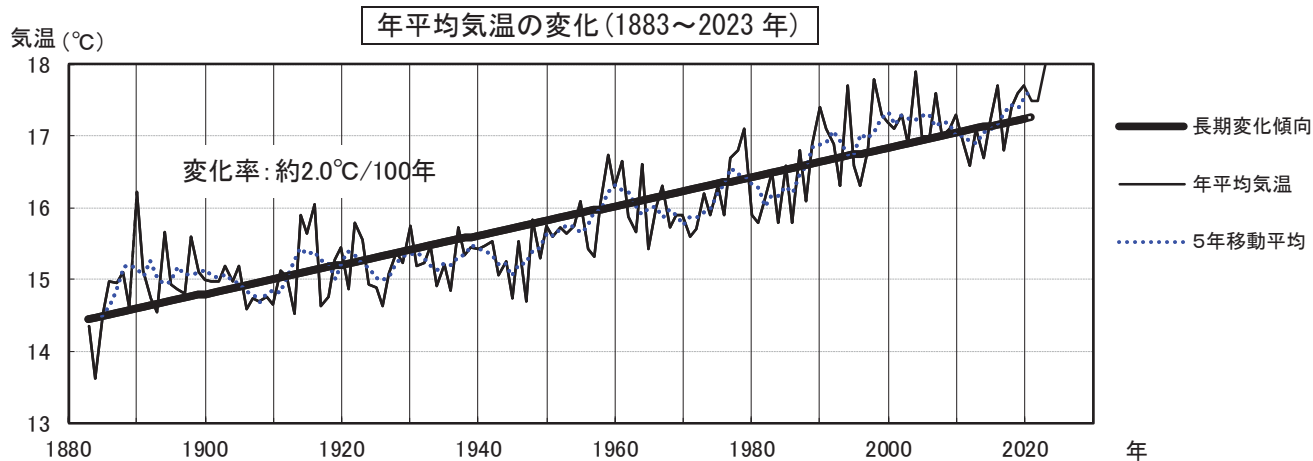
解説

第2章 気象

気温の長期変動

100年で約2℃上昇

大阪の年平均気温は長期的に上昇傾向を示しており、大阪管区气象台によると、100年あたり約2.0℃上昇しています。1990年代以降、猛暑日等の日数が特に多くなっています。



※平年値は、1991(平成3)～2020(令和2)年の観測値の各年の平均を基に算出しています。

※大阪管区气象台は、1968(昭和43)年8月に観測場所を移転しました。観測場所により実際より高め又は低めの気温が観測されることがあるため、移転前のデータについては、観測値に補正を行い、グラフの統計値としています。

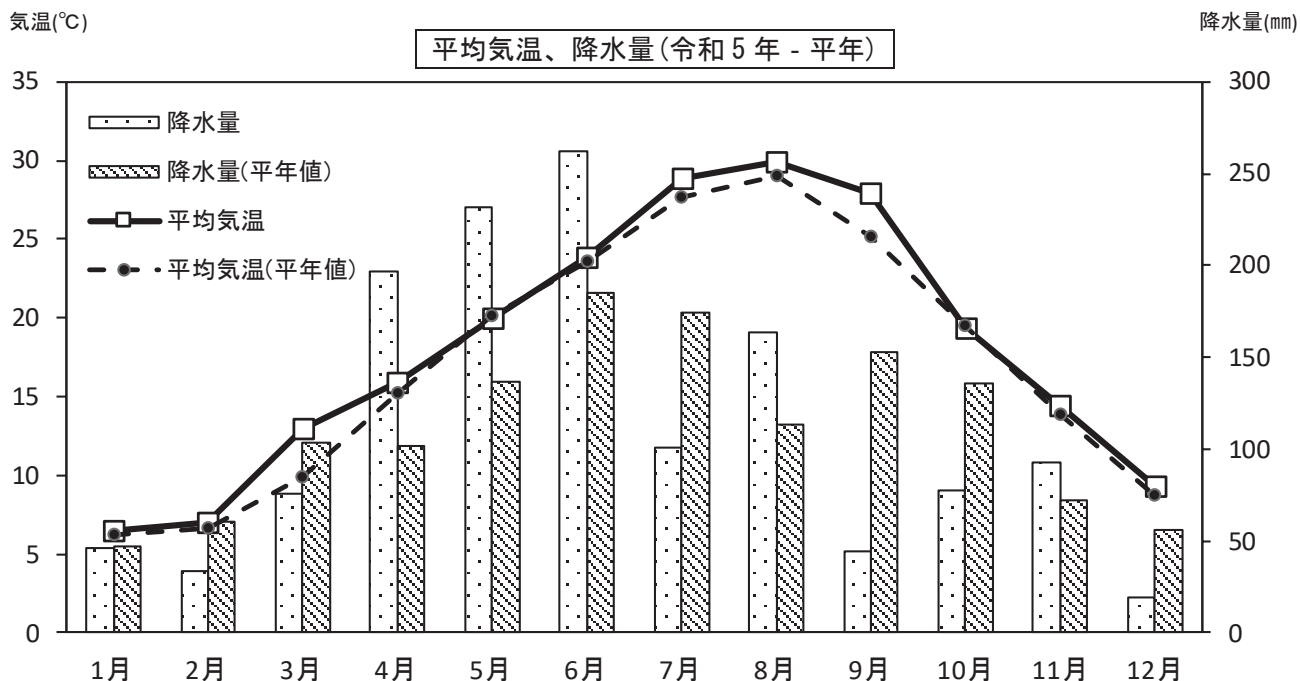
[大阪管区气象台「大阪府の気候変動」、気象庁「過去の気象データ検索」より]

令和5年の気候

年間平均気温 18.0℃ (平年値 17.1℃) 最高 38.6℃、最低 -2.0℃

年間降水量総量 1,343.5 mm (平年値 1,338.3 mm)

年間日照時間 2,324.0 時間 (平年値 2,048.6 時間)



※平年値は1991(平成3)～2020(令和2)年の観測値の各年の平均を基に算出しています。

[第2章2表より]

(気象概況)

1月

高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、中旬は前線や湿った空気の影響で、下旬は寒気や冬型の気圧配置の影響で雲が広がり、雨や雪の降った日がありました。14日は前線や湿った空気の影響で大雨となった所がありました。平均気温は高く、降水量は平年並、日照時間は多くなりました。

2月

天気は数日の周期で変わりました。平均気温は平年並、降水量は少なく、日照時間は平年並となりました。

3月

高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、中旬の後半から下旬の前半にかけては前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。平均気温はかなり高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

3月の月平均気温は1883年の統計開始以来高い方から、月間日照時間は1890年の統計開始以来多い方から、それぞれ3月として1位の記録となりました。

4月

天気は数日の周期で変わりました。7日と30日は前線や湿った空気の影響で大雨となりました。平均気温は高く、降水量はかなり多く、日照時間は平年並となりました。

5月

天気は数日の周期で変わりました。7日と8日は前線や湿った空気の影響で大雨となりました。また、19日、29日、30日は低気圧や前線、湿った空気の影響で大雨となった所がありました。平均気温は平年並、降水量は多く、日照時間は多くなりました。

6月

中旬は高気圧に覆われて晴れる日もありましたが、全般的に気圧の谷や前線及び湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多くなり、2日は府内全域で大雨、9日と22日も大雨となった所がありました。平均気温は平年並、降水量は多く、日照時間は少なくなりました。

7月

上旬から中旬にかけては、前線や湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多くなり、1日は大雨となった所がありました。下旬は、高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

8月

前半は高気圧に覆われて晴れる日が多くなり、後半は強い日射や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。15日は台風第7号の影響で各観測所で大雨となりました。また、14日は台風第7号の影響で、2日、22日、24日、26日は湿った空気の影響で大雨となった所がありました。平均気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並となりました。

9月

上旬と下旬の初め頃は前線や湿った空気等の影響で曇りや雨の日が多くなりました。中旬と下旬の中頃以降は高気圧に覆われて晴れる日が多くなりました。6日と21日は前線や湿った空気の影響で、8日と10日は湿った空気の影響で大雨となった所がありました。平均気温はかなり高く、降水量はかなり少なく、日照時間は多くなりました。

9月の月平均気温は1883年の統計開始以来高い方から9月として1位の記録となりました。

10月

上旬は前線、気圧の谷、寒気及び湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、中旬からは高気圧に覆われ晴れる日が多くなりましたが、全般に周期的に雨の降る日がありました。平均気温は平年並、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

11月

高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、上旬の中頃から中旬は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日があり、7日、10日、17日は大雨となった所がありました。平均気温は平年並、降水量は多く、日照時間はかなり多くなりました。

12月

上旬と下旬は高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、中旬は気圧の谷や湿った空気、寒気などの影響で曇りの日が多く、雨の降った日もありました。平均気温は高く、降水量は少なく、日照時間はかなり多くなりました。

12月の月間日照時間は1889年の統計開始以来多い方から12月として1位の記録となりました。

2－1 大 阪 管 区 気 象 台 観 測 状 況

位 置	経 緯 度		海 面 上 高	創 立 年 月 日	主 要 器 材 の 位 置	
	東 経	北 緯				
大阪市中央区大手前4-1-76 平成5年2月1日に現在の位置に移転	度・分	度・分	m			m
					気 圧 計（海面上）	83.0
					温 度 計（地上）	1.5
	135.31	34.41	23.0	明治15.7.1 （大阪測候所）	風 向 風 速 計（地上）	24.0
					雨 量 計（地上）	0.6

資料 気象庁

2－2 大 阪 管 区 気 象 台 気 象 概 況

ア）全天雲に被われた場合を10とし、雲のない状態を0とした10分比である。
イ）「有感地震」とは「震度1以上を観測した地震」のことである。
ウ）極値、有感地震回数に平年値はない。

年 月	平均気圧 （海面）	気 温			平均湿度	ア） 平均雲量	風 速			降 水 量		日照時間 総 数	イ） 有感地震
		平均	最高値	最低値			平均	最大瞬間	風 向	総 量	最 時 大量		
	hPa	℃			%		m/s			mm		時間	回
平成31年・令和元年	1,015.1	17.6	37.5	0.7	66	6.9	2.4	18.2	南南西	1,219.0	31.0	2,101.2	16
令 和 2	1,015.3	17.7	38.6	-0.1	65	6.6	2.4	19.8	南南西	1,521.5	34.0	2,149.6	15
3	1,015.6	17.5	38.9	-1.5	66	6.7	2.4	21.4	南南西	2,014.5	49.5	2,179.8	38
4	1,015.3	17.5	38.4	-0.5	65	6.4	2.4	18.4	南南東	1,058.0	22.0	2,319.6	43
令 和 5 年	1,015.9	18.0	38.6	-2	65	6.3	2.3	28.2	北東	1,343.5	34.0	2,324.0	17
令 和 5 年 1 月	1,020.4	6.5	15.5	-2	63	5.6	2.1	17.4	西	46.0	4.5	161.4	0
2	1,023.0	7.0	16.9	-0.1	62	6.3	2.1	13.9	北北西	33.5	6.5	134.4	0
3	1,020.2	13.0	25.2	4.1	58	5.7	2.3	15.8	西	76.0	7.0	225.1	0
4	1,015.7	15.9	27.4	7.2	62	6.8	2.5	16.0	北	196.5	21.0	193.1	1
5	1,014.2	20.0	30.3	11.3	64	7.3	2.5	14.2	南西	232.0	30.5	226.9	4
6	1,009.0	23.8	33.3	15.3	73	8.3	2.1	19.0	西	262.0	33.5	130.9	1
7	1,010.7	28.9	38.1	22.8	70	6.4	2.4	17.0	南西	100.5	21.5	242.0	3
8	1,007.3	29.9	38.6	24.4	70	6.5	2.7	28.2	北東	163.5	34.0	219.4	2
9	1,012.1	27.9	36.4	20.9	67	7.0	2.4	13.7	南西	44.0	18.5	188.0	2
10	1,016.4	19.3	27.3	11.0	62	5.6	2.1	17.0	西北西	77.5	10.0	213.7	2
11	1,019.4	14.4	27.9	5.2	65	4.6	2.1	16.2	西北西	92.5	25.0	191.4	1
12	1,021.9	9.3	21.0	-0.2	63	5.3	2.2	15.8	西南西	19.5	4.5	197.7	1
ウ）平 年	1,015.0	17.1	-	-	63	6.8	2.4	-	-	1,338.3	-	2,048.6	-

資料 気象庁

2-3

大阪管区気象台階級別日数等

区 分	平成31年 ・令和元年 年総数	令和2年 総 数	令和3年 総 数	令和4年 総 数	令 和 5 年												
					総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日																	
最高気温 $\geq 30.0^{\circ}\text{C}$	80	70	78	87	92	0	0	0	0	1	6	30	30	25	0	0	0
最高気温 $\geq 35.0^{\circ}\text{C}$	19	22	15	14	27	0	0	0	0	0	0	8	18	1	0	0	0
降水量 $\geq 0.5\text{mm}$	106	113	112	101	106	5	4	9	11	12	15	6	13	8	9	7	7
降水量 $\geq 1.0\text{mm}$	92	102	99	92	95	4	4	7	11	11	14	6	11	8	9	6	4
降水量 $\geq 10.0\text{mm}$	41	50	52	38	39	2	2	5	5	6	4	4	3	1	3	4	0
降水量 $\geq 30.0\text{mm}$	9	17	25	7	8	0	0	0	2	2	2	0	2	0	0	0	0
降水量 $\geq 50.0\text{mm}$	2	3	9	1	4	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0
雪 日 数	5	3	9	13	12	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
雷 日 数	22	15	15	18	24	0	0	1	2	1	1	4	8	3	2	2	0
霧 日 数	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日 最 大 風 速 10m/s以 上	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
雲 量 < 1.5	19	24	22	23	25	2	2	3	2	2	1	2	0	0	2	6	3
雲 量 ≥ 8.5	143	134	136	121	110	5	8	7	12	12	21	10	9	10	7	2	7
不 照 日 数	37	38	35	25	29	2	4	4	5	4	3	2	1	0	1	2	1

資料 気象庁

2-4

地域気象観測所平均気温

a) 統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱う（準正常値）。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なるが、全体数の80%を基準とする。

観 測 所	平成31年 ・令和元年 平 均	令和2年 平 均	令和3年 平 均	令和4年 平 均	令 和 5 年												
					平 均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
℃																	
能 勢	14.3	14.3	14.3	14.2	14.7	2.3	3.7	9.5	13.0	17.1	21.2	26.1	27.6	24.8	15.2	10.4	5.4
枚 方	16.7	16.8	16.8	16.6	17.2	5.2	6.1	12.2	15.2	19.5	23.3	28.5	29.8	27.4	17.9	13.2	8.2
豊 中	17.0	16.9	17.0	16.8	17.4	5.2	6.2 a)	12.1	15.4	19.5	23.4	28.5	30.1	27.7	18.3	13.4	8.4
大 阪	17.6	17.7	17.5	17.5	18.0	6.5	7.0	13.0	15.9	20.0	23.8	28.9	29.9	27.9	19.3	14.4	9.3
生 駒 山	12.5	12.6	12.5	12.4	13.1	1.3	2.1	8.6 a)	11.3	15.3	19.1	24.0	24.8	22.4	14.0	9.8	4.8
八 尾	17.4	17.4	16.6	17.2	17.6 a)	6.0	6.5	12.6	15.8	19.8	23.8	29.0	29.9 a)	27.5	18.5	13.6	8.7
堺	17.2	17.3	17.1	17.0	17.3	5.9	6.3	12.1	15.4	19.3	23.1	28.4	29.5	27.2	18.5	13.6	8.7
関 空 島	17.4	17.4	17.1	17.1	17.6	7.3	7.2	11.7	15.2	18.9	22.3	27.2	28.4	27.2	19.9	15.1	10.3
熊 取	16.4	16.5	16.4	16.5	16.9	5.8 a)	6.2	11.7	15.1	18.9	22.6	27.8	28.3	26.2	18.1	13.3	8.6

資料 気象庁

2-5

地域気象観測所降水量

a) 統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱う（準正常値）。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なるが、全体数の80%を基準とする。

観 測 所	平成31年 ・令和元年 総 量	令和2年 総 量	令和3年 総 量	令和4年 総 量	令 和 5 年												
					総 量	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月
mm																	
能 勢	1,352.0	1,691.0	1,779.5	1,079.0	1,311.5	42.0	33.5	89.5	151.5	264.5	214.0	74.0	221.0	62.0	48.5	84.0	27.0
茨 木	1,382.0	1,565.5	1,880.5	1,320.5	1,475.5	35.0	32.5	79.5	209.0	281.5	234.0	118.5	226.5	93.0	69.5	72.0	24.5
枚 方	1,346.0	1,566.0	1,979.0	1,327.5	1,259.0	29.5	38.5	67.0	180.0	260.5	234.0	89.5	141.5	58.0	67.0	72.0	21.5
豊 中	1,148.0	1,497.0	1,785.5	1,190.0	1,311.5	43.5 a)	31.0 a)	80.0	199.0	247.5	227.0	120.5	141.0 a)	56.0	62.0	83.0	21.0
大 阪	1,219.0	1,521.5	2,014.5	1,058.0	1,343.5	46.0	33.5	76.0	196.5	232.0	262.0	100.5	163.5	44.0	77.5	92.5	19.5
生 駒 山	1,539.5	1,525.5	2,019.0	1,246.5	1,599.5	41.5	40.5	68.0	195.5	277.5	263.0	126.0	179.0	153.0	100.0	119.0	36.5
八 尾	1,159.5	1,285.5	1,495.5	1,022.0	1,258.5 a)	37.0	28.5	76.0	149.5	206.5	265.5	86.0	130.5 a)	78.5	70.5	108.0	22.0
堺	1,175.5	1,394.0	1,499.5	967.0	1,271.0	45.5	27.5	73.0	155.5	192.0	264.0	76.5	171.5	71.5	61.5	109.5	23.0
関 空 島	1,276.0	1,254.5	1,521.0	709.0	1,187.0 a)	40.0	22.0	83.5	157.0	177.5	276.0	68.0	123.5	37.0	61.0	119.0	22.5
河内長野	1,564.5	1,644.0	1,754.0	1,229.0	1,625.0	62.0	40.5	100.5	158.5	235.0	318.0	74.5	259.0	116.0	90.0	137.5	33.5
熊 取	1,380.0	1,535.0	1,638.0	1,022.5	1,214.5	46.5	27.5	83.0	167.0	182.5	260.5	62.0	141.0	52.5	71.0	94.5	26.5

資料 気象庁

2-6

全国主要気象官署別気象概況

a) 統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けており値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いないが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上（以下）であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合がある。

(令和 5 年)

気 象 官 署	令和 5 年計		平成 3 年 ～ 令和 2 年平均			
	日 照 時 間	降 水 量	気 温	相 対 湿 度	日 照 時 間	降 水 量
	年 間 総 量	年 間 総 量	年 平 均	年 平 均	年 間 総 量	年 計
	時間	mm	℃	%	時間	mm
北 海 道						
札幌	1,890	966	9.2	69	1,718	1,146
東 北 区						
青森	1,821	1,316	10.7	75	1,589	1,351
盛岡	1,913	1,453	10.6	74	1,686	1,280
仙台	2,182	1,046	12.8	71	1,837	1,277
秋田	1,836	2,209	12.1	73	1,527	1,742
山形	1,894	1,177	12.1	74	1,618	1,207
福島	2,065	991	13.4	69	1,754	1,207
関 東 区						
水戸	2,454	1,508	14.1	74	2,001	1,368
宇都宮	2,294	1,537	14.3	70	1,961	1,525
前橋	2,497	1,063	15.0	62	2,154	1,247
熊谷	2,546	1,029	15.4	65	2,107	1,306
千葉	2,346	1,269	16.2	68	1,946	1,455
東京	2,259	1,397	15.8	65	1,927	1,598
横浜	2,410	1,377	16.2	67	2,018	1,731
北 陸 区						
新潟	1,944	1,866	13.9	72	1,640	1,846
富山	1,979	2,389	14.5	76	1,647	2,374
金沢	2,030	2,333	15.0	70	1,714	2,402
福井	1,956	2,498	14.8	75	1,654	2,300
東 山 区						
甲府	2,484	947	15.1	64	2,226	1,161
長野	2,236	830	12.3	72	1,970	965
岐阜	2,342	1,987	16.2	66	2,109	1,861
東 海 区						
静岡	2,459	2,383	16.9	68	2,152	2,327
名古屋	2,378	1,505	16.2	66	2,141	1,579
津	2,373	1,346	16.3	67	2,109	1,613
近 畿 区						
彦根	2,102	1,442	15.0	74	1,863	1,610
京都	2,081	1,345	16.2	65	1,794	1,523
大阪	2,324	1,344	17.1	63	2,049	1,338
神戸	2,319	1,280	17.0	65	2,084	1,278
奈良	2,095	1,358	15.7	68	1,836	1,365
和歌山	2,328	1,268	16.9	66	2,100	1,414
中 国 区						
鳥取	1,936	2,059	15.2	74	1,670	1,931
松江	1,894	1,971	15.2	75	1,705	1,792
岡山	2,201	1,032	15.8	69	2,034	1,143
広島	a) 2,179	1,461	16.5	67	2,033	1,572
山口	2,019	2,068	15.6	74	1,862	1,928
四 国 区						
徳島	2,309	1,761	16.8	67	2,107	1,620
高松	2,208	1,073	16.7	67	2,047	1,150
松山	2,140	1,400	16.8	67	2,015	1,405
高知	2,249	2,783	17.3	69	2,160	2,666
九 州 区						
福岡	2,033	1,768	17.3	68	1,889	1,687
佐賀	2,084	2,113	16.9	70	1,971	1,951
長崎	1,939	2,135	17.4	71	1,863	1,895
熊本	2,101	1,802	17.2	70	1,996	2,007
大分	2,116	1,566	16.8	69	1,992	1,727
宮崎	2,213	3,003	17.7	74	2,122	2,626
鹿児島	2,102	2,510	18.8	70	1,942	2,435
那覇	1,861	2,292	23.3	73	1,727	2,161

資料 「気象庁過去の気象データ」をもとに総務省が作成した「日本統計年鑑」